

2018研修分科会開催案内

第10期 | 第3回 | 2018年8月2日(木) 夏季見学ツアー

テーマ：資料の利用・保存とデジタルアーカイブを考える

集合 **9:50** 国立公文書館正面入口(時間厳守) 東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分

国立公文書館（竹橋）

10:00-11:30

<http://www.archives.go.jp/>

移動は地下鉄を利用します。
竹橋ー¥170ー京橋

学士会館にてランチ

11:30-13:00

国立映画アーカイブ（京橋）

13:30-15:00

<http://www.nfaj.go.jp/>

移動は地下鉄を利用します。
京橋ー¥170ー新橋

アドミュージアム東京（新橋）

15:30-17:00

<http://www.admt.jp/>

終了後暑気払い！



持ち物

- ☒ 名札
- ☒ 筆記用具（カメラは適宜）
- ☒ 交通費 訪問先への移動は地下鉄を利用します。170円×2回分は各自がご用意ください。
- ☒ 飲み物は適宜

ランチ！

学生会館The Seven's Houseのランチを予約します。（今回は研修費から負担します。）下記のメニューから選んでください。

- ・ クラーク・カレー
- ・ 特製ハヤシライス
- ・ ヘルシーサラダランチ
- ・ セブンス丼（限定10食なので、次候補も決めてください）

<https://www.gakushikaikan.co.jp/restaurant/sevenshouse/>
時間の関係でパスタは除きます。

暑気払い

終了後、汐留が新橋あたりで暑気払いをしましょう！
鶴岡さん、大田さん幹事より
しくをお願いします。
皆さん>暑気払いの出欠もMLに送ってください。

資料の利用・保存と、デジタル・アーカイブを考える

今回の見学ツアーは、「大学図書館」をちょっと離れて、隣接する文書館、美術館、博物館の活動からいろいろ学んできたいと思います。東北の震災後にsaveMLAKの連携が活発になり、皆さんの中にも参加された方がいらっしゃるのでしょうか。MLAKとは博物館・美術館(M)、図書館(L)、文書館(A)、公民館(K)の頭文字で、現在も被災・救援情報サイト*が運営されています。それぞれ扱う資料が異なりますが、「利用」と「保存」に関しては多分同じ悩みがあり、「利用のための保存」が工夫されてきていると思います。使うと劣化してしまうけど、利用されなければ保存している意味がありません。

図書館で扱う資料は主に印刷して刊行されたものが主ですが、文書館や博物館、美術館は、レプリカ以外いわば唯一無二のものですから、その保存に関してより積極的な方策が取られていることと思います。劣化しない利用方法としては、デジタル化の活動も大変参考になります。しかし、一方デジタル化することで劣化する問題もあることが国立映画アーカイブのホームページ**に「デジタルジレンマ」としてまとめられています。

利用者にとっては、「本物が見られる」ということが文書館、美術館、博物館の魅力です。見学では純粋に利用者の気持ちで感じる事も大切な経験になると思います。そして、見せる・魅せる工夫についても学んでみましょう。図書館のように分類順に並べて利用者が探すのと違って、積極的な展示という方法も参考になるのではないかと思います。

さて、図書館でもデジタル化が進んできています。今は図書館で扱う資料のほとんどは紙媒体ですが、デジタル化によって、図書館司書としての働き方・考え方も、未来に向けて変わってくるかもしれません。

* <https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>

** <http://www.nfaj.go.jp/aboutnfaj/filmbunka/>

細かな注意事項

- ☒ 集合は9:50時間厳守です。見学前に集合写真を撮ります。時間前に着いた方は、館内一般展示をご覧になってお待ちください。（9:15に開館しています。）
- ☒ 見学先では利用者の迷惑にならないよう行動してください。写真撮影は許可を得てからにしましょう。
- ☒ 事前に見学先のHPで概要を調べて、質問事項をまとめておくといでしょう。
- ☒ 季節がら、熱中症に注意しましょう。（飲食は決められた場所で、適宜水分補給を。）また、歩きやすい靴でお越しください。
- ☒ 交通費について、各大学に請求するために必要な書類がありましたら、研究部担当理事校成城大学様に作成してもらってください。